



みなみっ子

7月の生活目標：「安全に気をつけよう」

NO. 9

四万十市立中村南小学校 (TEL:34-7400)

しせいよく 話を聞きます あいて見て

1日の授業が終わって家に帰る前、ほとんどの1年生が校長室に来て、「校長先生、さようなら」と元気なあいさつをしてくれます。

そして、「校長先生、今日の国語の時間に、漢字の一から三の勉強をしたよ」「算数の時間は、ひき算の勉強をしたよ」「今日はテストをして、問題がいっぱいあったよ」などと、その日、勉強したことを話してくれます。



目を輝かせながら、とても楽しそうに話してくれる1年生を見ていると、担任の先生としっかり勉強しているんだなあ、といつも感心しています。

と同時に、自分で勉強したことを誰かに伝えることができる力がついているなあ、とも思ったことです。勉強したことは、誰かに話すことで、その内容が確かなものになります。インプットしたことは、アウトプットすることで、確実に自分の力になります。人間は、学習したことを誰かに話して伝えるなどして再生することで、その記憶が強化されるそうです。

ぜひ、ご家庭で子どもさんに、「今日はどんな勉強をした?」「今日の算数の時間は、どうだった?」などと聞いていただけたらと思います。

聴

先週の児童朝会で、話の聞き方について「聴」という漢字をもとに、次のような話をしました。

「聴」という漢字には4つの「聞き方」が隠れていますが、何か分かりますか。

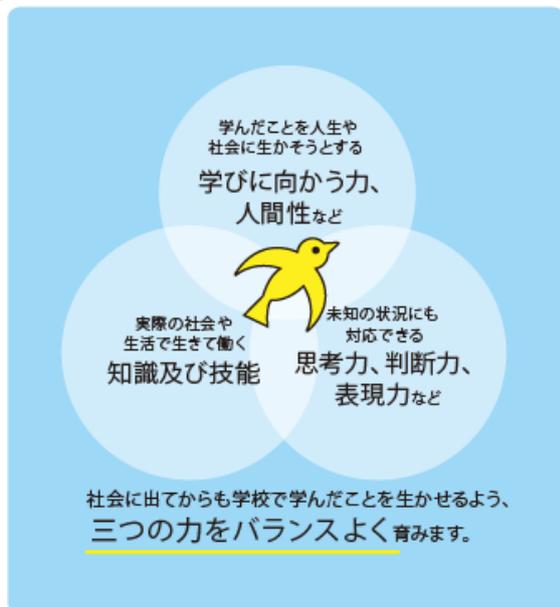
1つ目は「耳で聞く」です。2つ目は「心で聞く」です。十四の心で聞くという人もいます。3つ目は「目で聞く」です。4つ目は「素直に聞く」です。

3つ目までは、分かりやすいのですが、4つ目の「素直に聞く」は少し説明が必要ですね。聴という字に似た字で徳という字があります。この徳という字は、もともとは「惠」だったそうです。つまり、徳という字は、まっすぐな心で行くという意味です。

相手の話を、耳で、心で、目で、そして素直な心で聴いてほしいと思います。相手の話をよく聞くということは、相手を尊重することにもなります。

担任の先生や友達の話をも、この4つの聞き方で聴いてほしいと思います。

通知表について



昨年度より、日本全国の小学校で新しい学習指導要領に基づいた教育課程が編成され、実施されています。

新しい学習指導要領は、20年後、30年後の社会を見据えて、その時代を生きる子どもたちに必要な力を、左の図にあるような3つの「資質・能力」としています。

そして、各教科等では、この3つの「資質・能力」をバランスよく育てていくことを目指しています。

学習評価も、この3つの「資質・能力」に基づくものとなり、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点で評価するようになっていきます。



保護者の方へお渡しする通知表もその観点での評価となり、3観点の評価項目となっています。

例えば、5年生の算数の評価の観点は、次のようになっています。

【知識・技能】

数量や図形について理解し、計算したり作図したりする技能を身に付けている

【思考・判断・表現】

算数の問題について、多面的に考え、目的に合った方法で表現している

【主体的に学習に取り組む態度】

数量や図形の学習に粘り強く取り組み、生活や学習に生かそうとしている

各教科で、それぞれの項目を「よくできる」「できる」「もうすこし」で評価していきます。

☆通知表の押印の廃止について

昨年度までは、通知表に校長、担任、保護者の押印をしていましたが、今年度からは押印を廃止します。通知表を持ち帰ったら封筒の中を確認していただいて、新学期の始めには、袋だけ学校に持ってきてください。

創立40周年の部屋

☆☆中村南小学校の校歌と校章について☆☆

中村南小学校は、昭和57年（1982年）に開校し、今年度、創立40周年を迎えました。

中村南小学校の校歌と校章は、開校した昭和57年10月に制定されました。

校歌の歌詞は、当初は広く市民から募集していたようですが、入選作品がなく、当時、日大付属豊山高校で先生をしていた国見純正先生（中村市有岡出身）に、作詞を依頼してできたものです。

そして、その歌詞に高知県出身の作曲家 平井康三郎先生（平井先生は、『とんぼのめがね』などの多くの作曲をした方で、日本全国の数多くの校歌を作曲されている先生です。高知県でも多くの学校の校歌を作曲されています。）が、作曲して完成しました。



校歌ができた年に、平井先生を迎えて校歌発表会が行われています。その発表会で、その時の6年生が、「平井先生、素晴らしい校歌をありがとうございました。四万十川の流のように、誇りとしていつまでも歌い続けていきます。」とお礼を言ったというのが、当時の高知新聞の記事にありました。

ぜひ、中村南小学校の伝統として、当時の先輩の思いも大切にしながら、校歌を歌ってほしいと思います。

また、校章は、当時の中村南小学校6年生が図工の時間にデザインしたものの中から選ばれて決まったそうです。



この校章は、人の和を象徴するブルーの円を基調に、円の中に南小学校の『南』の字を浮き立たせたものです。また『南』の下のひし形と円の組み合わせで中村市の『中』、小学校の『小』とも読ませるデザインとなっています。（当時の高知新聞の記事より）

9月に撮影予定の創立40周年記念航空写真では、全校児童が校庭に、この校章の人文字を作り撮影します。

◎創立40周年記念花火大会

7月20日（火）の19時30分より、中村南小学校で行います。雨天順延です。

◎創立40周年記念航空写真

9月28日（火）に撮影予定です。撮影した写真をもとにクリアファイルを作成し、児童全員に配布します。

地域学校協働本部事業



地域学校協働本部とは、学校・家庭・地域が一体となって地域ぐるみで子どもを育てる仕組みで、幅広い地域住民等に参画してもらい、地域と学校とが連携・協働して、地域全体で未来を担う子どもたちの成長を支える活動です。

中村南小学校でも、これまで続いてきた「開かれた学校づくり推進委員会」を継承発展させる形で、令和元年度より地域学校協働本部を設置して取組をすすめています。

先日、第1回の推進委員会を開催し、次の方に役員をお願いしました。

- 委員長 秋田 さん（不破上町地区区長）
- 副委員長 沖本 さん（PTA会長）

地域学校協働活動としては「授業の補助」「ふるさと教育の講師」「放課後学習」「鼓笛隊指導」「環境美化活動」「登下校安全指導」等の様々な活動を予定しています。

◎事務室より

学校集金の口座引き落とし導入について

現在、学校では、ドリル等の購入やノートの一括購入等、下記の集金額を数回に分けて集金をさせてもらっています。

（1年 18,861 円 ・ 2年 17,420 円 ・ 3年 19,428 円 ・ 4年 20,795 円 ・ 5年 22,395 円 ・ 6年 30,966 円）

しかし安全面などを考え、他校では口座振替とする学校が増えてきています。四万十市内の小中学校の多くが、来年度の口座振替の導入に向けて準備をしています。

そこで、保護者の皆さんへ参観日等でご説明をした後、中村南小学校でも来年度より、現金集金から口座振替への変更を検討できないか考えています。詳細については、後日お知らせさせていただきますが、ご意見等ありましたら、学校までお知らせください。

口座振替にはメリットもデメリットもありますが、安全安心な会計業務のためご協力をお願いします。

1.現金集金の課題

- ①児童に現金を持たせることが心配
- ②集金が揃うのに日数がかかる
- ③集金する金種が手元に無くて準備できない(家庭)

2.口座振替の特徴

- ①安全面で効果あり
- ②集金の手間が省ける(学校)

3.ご家庭の負担

- ①郵便局口座の開設
- ②口座振替手数料(10 円)

※中村中学校他四万十市内の小中学校は郵便局を取扱金融機関としています。
(振替手数料が一番安い)

事務担当 岩本 望